

できることから始めよう!



城陽環境パートナーシップ会議

城陽エコパートナー通信

Vol.62

発行日：令和元年(2019年)7月11日
会員数：291人(6月30日現在)

編集・発行：城陽環境パートナーシップ会議
(事務局) Tel(56)4061 Fax (56)3999

令和元年度総会を開催！ 令和元年6月29日(土) 場所：城陽市立福祉センターホール

6月29日、令和元年度総会が開催されました。会長より、私達市民が安心安全で快適な生活を営むことのできる良好な環境を確保するためには、市民自らの行動が地球環境に影響を与えていることを認識し、一人ひとりが地球温暖化防止につながる行動を起こすことが必要だと考えます。まずは、市民の環境への関心をより高めるようなイベントの開催に取り組んでいきたいと挨拶がありました。引き続き、総会議事に入り、まず平成30年度事業報告、平成30年度収支決算が一括で上程、報告され審議の結果、満場一致で承認されました。

次に令和元年度事業計画案、令和元年度収支予算案が一括で上程され、審議の結果満場一致で承認されました。今年度は役員改選があり、22名の方々が運営委員に就任されました。これを以て総会は終了しました。終了後出席者全員で記念撮影をしました。



環境ミニフォーラムを開催！

令和元年6月29日(土)

場所：城陽市福祉センターホール

～各部会の活動報告をおこないました～

文：芦原副会長

生活・自然部会の活動報告は、山中十郎氏を迎え「環境資料の解説」をおこないました。「イワツバメ」「タカサゴロサギ」「オシドリ」「キジ」さらにNHKで有名になった「ミゾゴイ」など山中氏の努力の賜物である鳥の一瞬をとらえた写真は迫力満点でした。加えて資料の解説途中での脇坂氏や中川委員による「ブッポウソウ」や「サンコウチョウ」に関する論議では鳥の鳴き方や特徴を説明され、おおいに勉強になりました。しかし忘れてならないのは、迫力満点の写真の陰に、一瞬のシャッターチャンスの為に、数時間、多いときには数日間待ち続ける山中氏の努力、そしてこの瞬間にも宝物といえる鳥類を始めとする生き物が環境破壊により姿を消していく現実があるということです。いろいろ考えさせられた資料解説でした。

循環・地球環境部会は「移動の省エネと自転車の活用」をテーマに小林運営委員より活動報告をしました。自転車を知り尽くした小林委員の数字に裏付けされた自転車活用術は、車社会で二酸化炭素まみれになった地球の救世主となるかもしれない。自転車拡大使用課題にまとめられた10項目、例えば15km未満の自転車化への可能性、活用推進法の啓発・学習・国・自治体・企業への協力等々は、温暖化防止を目指す我々地球に住む人間が是非とも実践を目指すさなければならぬ事項ばかりです。



解説者：山中十郎氏



報告者：小林運営委員

平成 30 年度収支決算(平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日)

1. 総括表

単位：円

項目	決算額	備考
総収入	895,897	
総支出	697,107	
収支差額	198,790	令和元年度(2019年度)へ繰越

2. 収入

単位：円

項目	予算額①	決算額②	差額②-①	備考
(1)会費	340,000	340,000	0	賛助会費 17会員×@20,000
(2)募金・寄付	4,800	15,866	11,066	パートナーシップ募金15,866円
(3)参加費収入	86,100	42,720	△ 43,380	こどもエコ料理教室11,900円 男のエコ料理教室21,000円 自然学習会9,820円
(4)補助金	300,000	300,000	0	「城陽市活動支援補助金」300,000円
(5)雑収入	9,030	14,304	5,274	普通預金利息、環境フォーラム販売収益、生き物ハンドブックDVD販売代、菜種油販売代
(6)前年度繰越金	183,007	183,007	0	
合計	922,937	895,897	△ 27,040	

3. 支出

単位：円

項目	予算額①	流用額②	流用後予算額③	決算額④	差額④-③	備考
(1)事業費	732,010	0	732,010	547,600	△ 184,410	総会・学習会(エコ料理教室、自然観察会等)講師謝礼、事業参加者保険代、花いっぱい運動に関する用具代・苗・種代、菜種油搾油代、畑の肥料代、温室内消耗品・備品・修繕費用、フォーラムチラシ印刷代・展示資料印刷プリンターインク代、エコバスツアー交通費、駐車場代、エコ料理教室材料費、事業開催に関する費、「Joyo eco choice!」製作、城陽生き物ガイドブック(希少生物編)の製作、学習会教材製作材料費など
(2)広報費	57,600	0	57,600	50,760	△ 6,840	会報郵送(年4回)
(3)調査研究費	5,000	0	5,000	0	△ 5,000	支出なし
(4)事務費	106,412	0	106,412	98,747	△ 7,665	賛助会費・印刷代等振込手数料、通信切手代、事務消耗品など
(5)予備費	21,915	0	21,915	0	△ 21,915	充当、補正なし
合計	922,937	0	922,937	697,107	△ 225,830	

令和元年度事業計画

環境ビジョン	令和元年度の取組内容
パートナーシップ	総会の開催 環境フォーラム・環境ミニフォーラムの開催 第2次環境基本計画の取組み 会報(エコパートナー通信)の発行(年4回) 環境美化の推進
生活	身近な河川の清掃活動の実施 グリーンカーテンの普及・啓発 エコ料理教室 花いっぱい運動の実施
自然	身近な河川と里山で見られる動植物の観察会の開催(年3回) 城陽生き物ガイドブック(植物編)の作成 竹林の整備(竹炭づくり)
地球環境	省エネ診断の実施 エコバスツアーの開催 企業訪問の実施
循環	ごみの分別・減量化の啓発 廃食用油回収の啓発 マイボトルの推進 環境学習会の開催 「Joyo Eco Choice!」の活用

城陽環境パートナーシップ会議 運営委員

役職	氏名
会長	大野 和宣
副会長	芦原 昇
監事	竹内 康
運営委員	一瀬 裕子
〃	井手 邦彦
〃	上野 さや子
〃	岡井 昭憲
〃	岡田 丞市
〃	奥 鈴代
〃	奥田 禎爾
〃	奥田 さゆり
〃	小林 駿
〃	崎嶋 毅昇
〃	綱井 孝司
〃	中川 宗孝
〃	中島 和代
〃	新川 達郎
〃	萩本 卓也
〃	水野 尚之
〃	山岡 正信
〃	山村 元秀
〃	米田 由紀子

○運営委員会・部会の開催 毎月第1・第3木曜日

(敬称略)

令和元年度収支予算(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

【収入の部】

単位：円

項目	予算額	前年度予算額	対前年度比較	摘要
(1)会費	340,000	340,000	0	賛助会費 @20,000×17会員=340,000円
(2)募金・寄付	4,800	4,800	0	募金 @400×12月=4,800円
(3)参加費収入	76,100	86,100	△ 10,000	[自然学習会]参加費@200×35人×1回=7,000円 [子どもエコバスツアー]参加費@500×35人×1回=17,500円 [子どもエコ料理教室]参加費 子供@300×12人=3,600円、大人@500×12人=6,000円 [エコバスツアー]参加費@500×35人×1回=17,500円 [男のエコ料理教室]参加費@1,000×24人×1回=24,000円
(4)補助金	300,000	300,000	0	城陽市(300,000円)
(5)雑収入	9,030	9,030	0	普通預金利息、即売等の収益金
(6)前年度繰越額	198,790	183,007	15,783	
収入合計(A)	928,720	922,937	5,783	

【支出の部】

単位：円

項目	予算額	前年度予算額	対前年度比較	摘要
(1)事業費	742,430	732,010	10,420	自然観察会・料理教室の講師謝礼、花いっぱい運動活動費、生き物ガイドブック作成、省エネ診断・開催イベントのインセンティブ代、エコバスツアー・自然観察会等の交通費、エコバスツアー・自然学習会等の観覧料、学習会での使用教材、事業開催にかかる保険代、消耗品など
(2)広報費	57,600	57,600	0	会報郵送料 @72×200会員×4回=57,600円
(3)調査研究費	5,000	5,000	0	参考資料、書籍等購入代
(4)事務費	110,000	106,412	3,588	切手代、会費振込手数料、その他振込手数料、慶弔費、事務消耗品など
(5)予備費	13,690	21,915	△ 8,225	
支出合計(B)	928,720	922,937	5,783	
収支差額(A) - (B)	0	0	0	

マイボトルの推進〔その5〕

「廃プラはもう行き場がない！」

文：小林委員



食物の安全教室

■ペットボトルはリサイクル率が意外と低い！

軽くて便利な廃プラ（ペットボトルやレジ袋）は、風に飛ばされたり、ポイ捨てされたり、汚れたまま廃棄処理したものがリサイクルされずに多くが海洋に流れて、海はプラごみだらけとなり、海に棲む魚鳥類が廃プラを食べて死んだり悲惨な状況下にある。この対応としてカナダの首相は 2021 年までに脱プラすると宣言した。6月末に大阪で開催された G20 首脳会議では、議場からペットボトル水が消えて一歩前進した。脱プラに出遅れている日本は、レジ袋の有料化等に向けその対応に躍起となっている。

■海も陸も廃プラでいっぱい！

これまでは産業用廃プラの多くは、中国はじめ東南アジアの国々に輸出してきた。しかし、1 昨年初頭には、中国が輸入を禁止。続いて東南アジアの国々も廃プラのリサイクルが出来ずに放置されて海に流出。海も陸も廃プラの山と化している。その対応として諸外国では輸入規制が始まっている。

家庭ごみとして、家庭から集める、いわゆる家庭用廃プラは、自治体のルールに従ってリサイクルや焼却される。一方、工場等から排出される産業用廃プラは、別のルートで回収されて多くは、輸出される。輸入国の規制で日本でも廃プラの山と化して処理が出来ずに環境省が焼却処分の指示が出ている。ごみ問題は所詮上流で絞らなければ解決しない。つまり、遅まきながらもプラの生産抑制や本格的代替品開発を！

(出展：高月紘氏)



「元栓を締めた方が早道じゃないのか？」

イベント

Information

お気軽にご参加ください!

洛タイ新報のホームページにおいて、当会議の中川宗孝運営委員執筆「ナチュラリストのフィールド日記」を連載中です。ぜひご覧ください!

廃食用油を使った工作教室

「オリジナルキャンドル作り」

天ぷらなどの後に残る廃油。そのまま排水口へ流せば水を汚し、捨てれば廃棄物を増やしてしまいます。今回はその廃油を使って素敵なオリジナルキャンドルをつくります。

開催日時	7月20日(土) 14時30分～15時30分 ※受付は14時から
場 所	南部コミセン 講習室1・2
講 師	城陽市環境課ごみ減量推進係職員
定 員	小学生とその保護者 先着16組 (先着順)
参加費	無料
対 象	市内在住、在勤、在学の人
持 ち 物	キャンドル用空き瓶、きれいにろ過した廃食用油(キャンドル用空き瓶に入る量 150ml～200ml※ビンなどに入れてお持ちください)、エプロン、軍手
申 込 み	7月2日(火)から電話で事務局まで
★詳細は広報じょうよう7月1日号に掲載します。	

家電はどんな風にリサイクルされているの？

「こどもエコバスツアー」

家電のリサイクル工場の見学、家電(薄型テレビ)の解体体験を通じて、リサイクルの大切さを学びます。

開催日時	8月7日(水) 集合出発10時45分 解散予定17時30分 ※雨天決行
集合場所	城陽市役所南玄関前駐車場
行 先	「パナソニック エコテクノロジーセンター(株)」(兵庫県加東市)
定 員	小学校4年生～6年生のこどもとその保護者15組(先着順)30名
参加費	無料
対 象	市内在住、在勤、在学の人
持 ち 物	お茶、筆記用具 ※昼食は途中サービスエリアでとります(自己負担)。
申 込 み	7月2日(火)から電話で事務局まで
★詳細は広報じょうよう7月15日号に掲載します。	

城陽市の旬を味わう 「こどもエコ料理教室！」

「地産地消」を体験!城陽の旬の食材でスイーツをつくります。

開催日時	8月24日(土) 13時30分～15時30分	場 所	南部コミセン 料理実習室
講 師	中坊裕子氏	定 員	24名(先着順)
実習献立	「梅ポロン」「豆腐ドーナツ」「旬の果物のゼリー寄せ」	参加費	こども300円 /大人500円(当日徴収)
対 象	市内在住、在勤、在学の人(小学生以下は保護者同伴)	持 ち 物	エプロン・三角巾・タオル・ふきん・台ふき
申 込 み	8月2日(金)から電話で城陽環境パートナーシップ会議事務局(環境課)TEL56-4061		
★詳細は広報じょうよう8月1日号に掲載します。			

東 城 陽 ゴ ル フ 倶 楽 部

〒610-0121 京都府城陽市寺田奥山 1-48
TEL : 0774-52-1161

日 本 観 光 ゴ ル フ 株 式 会 社 城 陽 カ ン ト リ ー 倶 楽 部

〒610-0121 京都府城陽市寺田奥山 1-46

株 式 会 社 城 南 工 建

〒610-0113 京都府城陽市中芦原 27 番地の 1
TEL 0774-53-3939 FAX 0774-55-1172

株 式 会 社 玉 井 開 発

〒610-0192 京都府宇治市広野町西裏 30 番地 1
TEL 0774-44-3351(代) FAX 0774-41-7007

次の団体・個人から賛助会費をいただきました。誠にありがとうございました。

イズミヤ(株)大久保店、近畿砂利協同組合、京都城陽ロータリークラブ、サントリーブロダクツ(株)宇治川工場、(株)城南工建、城陽市、城陽商工会議所、城陽金融会、星和電機(株)、(株)玉井開発、長池工業(株)、日本観光ゴルフ(株)城陽カントリー倶楽部、東城陽ゴルフ倶楽部、(株)平和堂アル・プラザ城陽、(株)ミズホ、森澤博光

※令和元年6月末現在(五十音順・敬称略)